

株式会社SIGNING、
新型コロナウイルスによる暮らしの変化と社会変革の兆しを捉える
調査レポート『Covid-19 Social Impact Report』を公開

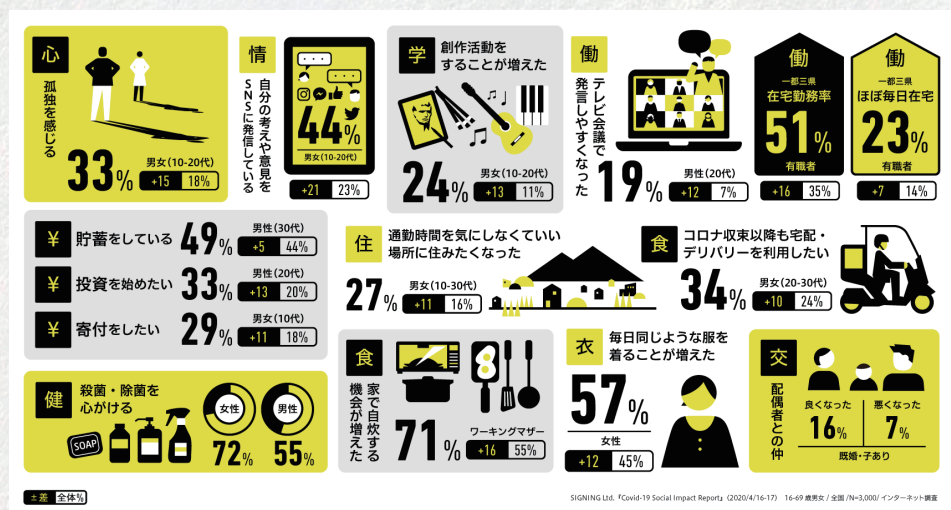
Covid-19 Social Impact Report

博報堂DYホールディングス傘下のビジネスデザインカンパニーSIGNING(サイニング)は、新型コロナウイルスによる生活者の暮らしと意識の変化と未来に向けた社会アップデートの兆しを考察した調査レポート「Covid-19 Social Impact Report(調査期間2020年4月16~17日)をまとめました。

4月7日に7都府県・4月16日に全国へと対象地域を拡大した緊急事態宣言が発出され、大型連休も「STAY HOME週間」として外出自粛要請が出されるなど、生活者の暮らしへの影響はいっそう大きなものになることが予想されます。

こうした危機的状況の中であって、未来に向けたポジティブな兆しと考えられる生活や意識のアップデートポイントに着目することで、ポストコロナの世界へと前進しようとする生活者たちの姿を捉えることができました。

レポート詳細はこちら：<http://signing.co.jp/pdf/covid19-social-impact-report.pdf>



本レポートは世界的な新型コロナウイルスの危機に対して厳しい状況だからこそその中に前向きな変化の兆しを見つけたいという意図で作成しています。新型コロナウイルスそのものや、それによって発生している諸問題を肯定するものではありません。

調査サマリー

【コロナをきっかけに起きた変化の中で「良かった」と思えること】

- 自分の時間が増えた 10-20代男女:61%(全体+23pt)
- キャリアや仕事をじっくり考える機会ができた 10-20代男女:38%(全体+13pt)
- 家族と過ごす時間が増えた ワーキングマザー:74%(全体+23pt)

【コロナをきっかけに変わって欲しいと思うこと】

- 在宅勤務が認められるようになってほしい 10-20代男女:64%(全体+11pt)
- 子どもを持つ家庭も働きやすい社会になってほしい ワーキングマザー:69%(全体+24pt)
- 職場の同僚との絆やチームワークが強まって欲しい 教育・学習業事業者:62%(全体+15pt)

【コロナをキッカケとした暮らし・社会の前向きな変化に対して期待が強い層】

- 若年層(男性10代/女性10-20代):「良かったと思えること」の反応個数が全体に比して1.25
- ワーキングマザー(既婚同居子あり有職者):「コロナをキッカケに変わって欲しいと思うこと」の反応個数が全体に比して1.17
- 宿泊・飲食業従事者:「コロナをキッカケに変わって欲しいと思うこと」の反応個数が全体に比して1.17

また社会課題とビジネス課題を同時に解決する「ソーシャルデザイン」を掲げるSIGNINGは、今回の調査結果を受けて、コロナ危機を乗り越えより良い未来へと社会をアップデートするためのアイデア＝「ソーシャルサイン」※を同時公開いたします。

様々な方々のポストコロナアクションのきっかけになればと考えています。

※ソーシャルサイン: SIGNINGが提案する社会課題とビジネス課題を同時に解決するアイデアのこと

調査概要

[16-69歳男女]全国・3,000サンプル

[調査方法]インターネット調査

[実施時期]2020年4月16日(木)-17日(金)

レポート詳細

<http://signing.co.jp/pdf/covid19-social-impact-report.pdf>

Web

<https://signing.co.jp>

本件に関する
お問い合わせ

contact@signing.co.jp